

令和4年 4月「月報」

1 はじめに

政府は、令和4年1月から東京都はじめ全国18都道府県へ適用していた「まん延防止等重点措置」を、3月21日をもって全面解除しました。

2月から全国各地で予定されていた入隊・入校予定者激励会が、3年連続して中止、または規模縮小（ご家族の参加なし）開催となってしまいました。

コロナ禍とはいえ、入隊する若者を何とか激励したいとの思いから、感染対策に万全を期して入隊・入校予定者激励会を開催した家族会の活動特集を3項で紹介します。

一方、国外では2月24日、ロシアがウクライナ全土に軍事侵攻を開始しました。

3月2日の国連総会において、「最も強い言葉で遺憾の意を表する」との決議が141カ国の賛成で採択され、日本を含むG7などによる経済制裁の発動にもかかわらず、4月1日現在、ロシアはウクライナ東部の都市を集中攻撃するなど侵攻を続けています。

これを受け、日本政府は3月4日、国家安全保障会議（以下NSCという）を開き、ロシアの侵攻を受けているウクライナからの要請に応じ、自衛隊が保有する防弾チョッキなどの防衛装備品を同国に無償提供することについて検討を開始し、8日のNSCにおいて「防衛装備移転3原則」の運用指針を改正して防弾チョッキ、鉄帽等の支援物資を自衛隊機により輸送することを決定しました。

8日夜、第1便として防衛装備品等を積載した輸送機（KC-767×1機）が小牧基地を出発、更に10日には、第2便の輸送機（C-2×1機）が美保基地を出発し、ポーランドの空港経由でウクライナに届けられました。



見送りを受け出発する輸送機（KC-767）

2 防衛省・自衛隊の活動

（1）ウクライナへの自衛隊装備品等の提供

政府は、3月8日のNSCにおいて、防衛装備移転三原則の運用指針に定める「防衛装備の海外移転を認め得る案件」として「国際法違反の侵略を受けているウクライナに対して自衛隊法第116条の3の規定に基づき防衛大臣が譲渡する装備品等に含まれる防衛装備の海外移転」を追加しました。

提供する装備品等の概要は、防弾チョッキ、鉄帽、防寒服、天幕、カメラ、さらには衛生資材、非常用糧食、発電機等を、自衛隊機により空輸し、ウクライナに提供しました。これらの内、防弾チョッキが防衛装備移転三原則上の防衛装備に該当します。

(2) 防衛大学校卒業式

3月27日、令和3年度防衛大学校卒業式（本科第66期学生501人、理工学研究科・総合安全保障研究科前期課程学生52人、理工学研究科後期課程学生7人、このうち29人の留学生含む）が、岸田総理大臣及び岸防衛大臣等が参列し、挙行されました。今年も、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮して、規模を縮小して実施され、式典の様子はインターネット（YouTube）でライブ配信されました。

久保学校長は、「この4年間で人としての修養は積んだと思います。これからも訓練と精進を続け、国民に奉仕する皆さんの英雄的な生涯がやりがいと誇りに満ちたものになることを願っています」と式辞で述べました。

また岸田総理大臣は、ロシアのウクライナへの軍事侵攻について「事態の展開次第では戦後最大の危機を迎える」と指摘したうえで、国際社会が一致して力による一方的な現状変更に毅然と対抗していかなければならないと述べました。



卒業式の様子

(3) 防衛医科大学校卒業式

3月5日、防衛医科大学校医学科第43期及び看護学科第5期学生の卒業式が、挙行されました。

卒業生は、医学科75人、看護学科117人（看護官候補生71人、技官候補生46人）の計192人で、医官・看護官・技官への第一歩を踏み出しました。

本卒業式には岸防衛大臣が出席する予定でしたが、当日朝の北朝鮮による弾道ミサイル発射事案を受け、急遽出席を取りやめました。このため島田和久防衛事務次官が訓示を代読し、卒業生を激励しました。

新型コロナウイルスの影響で、今年も来賓やご家族ら部外者の招待はなく、式典の様子は、インターネット（YouTube）でライブ配信されました。

(4) 多次元統合防衛力構築に向けた体制改革（主要な新編部隊等の紹介）

ア 自衛隊サイバー防衛隊の新編

3月17日、防衛省は、サイバー攻撃への対処部隊を再編成し、機能を強化した陸・海・空自共同部隊のサイバー防衛隊を新編しました。同隊は、サイバー空間での攻撃対処に加え人材育成や実戦的な訓練の支援、情報通信ネットワークの管理運用などを担います。

岸防衛大臣は、発足式典で、隊司令の木村顕継陸将補に隊旗を授与し、「サイバー攻撃の脅威は日々高度化、巧妙化している。サイバー領域の最前線を担う部隊としての自覚と誇りを胸に任務に当たってほしい」と訓示しました。



木村隊司令（右）に隊旗を授与する岸防衛大臣

イ 宇宙作戦群の新編

3月17日、航空自衛隊は、府中基地に宇宙作戦群（70人規模）を新編しました。昨年5月に新編した宇宙作戦隊（府中基地）に加え、宇宙領域における様々な活動を計画・遂行するための指揮統制を担う宇宙指揮所運用隊とともに、その上級部隊として発足しました。

令和4年度中に、府中基地に既存の「宇宙作戦隊」を「第1宇宙作戦隊」に部隊名を変更、新たに防府北基地（山口県）に「第2宇宙作戦隊」を新編する予定です。

これにより、令和5年度開始予定の宇宙状況監視システムの運用に向け体制を整えることになります。



玉井群司令に隊旗を授与する
鬼木誠防衛副大臣（左）

ウ 電子作戦隊の新編

3月17日付で発足した電子作戦隊の新編行事（隊旗授与式）が、3月28日、陸自朝霞駐屯地において行われ、中曽根防衛大臣政務官から電子作戦隊長（門田宏光 1等陸佐）へ隊旗が授与されました。

同隊は、電磁波領域での対処能力強化のため、今後、長崎県（対馬駐屯地）や沖縄県（与那国駐屯地）に順次新編予定の電子戦専門部隊の上級部隊として、陸上総隊直轄の部隊として運用されます。



門田電子作戦隊長に隊旗を授与

エ 自衛隊入間病院の開院

3月17日、航空自衛隊入間基地に隣接する米軍ジョンソン基地跡地に整備が進められていた自衛隊入間病院が開院し、記念式典が行われました。

同病院は自衛隊の三沢病院（青森県三沢市）、岐阜病院（岐阜県各務原市）、那覇病院（那覇市）の3病院を集約、高機能化した病院で、通常は隊員やその家族の診療を行うとともに一般市民の2次救急患者を受け入れる。診療科は内科や外科、救急科など10診療科で病床は60床です。

式典に出席した岩本剛人防衛大臣政務官は「航空機による患者輸送や救急患者の受け入れなど地域医療にも貢献していく。入間病院が能力を遺憾なく発揮し、多くの国民、隊員の命と健康を守ることを期待している」と述べました。



入間病院全景



記念式典で挨拶する岩本防衛政務官

3 家族会の活動

(1) 令和3年度第6回理事会の開催

3月15日、令和3年度第6回理事会がグランドヒル市ヶ谷において、新型コロナウイルス感染防止に十分配慮して、理事26名、監事2名、運営委員などが出席して開催されました。

次年度事業計画などを審議する理事会が、コロナ感染の影響で2年続けて書面決議となっていたため3年ぶりの対面での理事会開催となり、次の議案等について審議・報告が行われました。

ア 議案

- ・第1号議案：令和4年度自衛隊家族会事業計画（案）
- ・第2号議案：令和4年度分担金（案）
- ・第3号議案：令和4年度収支予算書（案）
（令和3年度資金調達及び設備投資の見込み案含む）

- ・第4号議案：令和4年度定期総会開催（案）

いずれも異議なく原案どおり可決しました。

（なお、第1・3号議案は、本会HPに掲載しています。）

イ 報告

- ・第27回(令和3年度)「自衛隊の活動支援基金」管理運営委員会報告
- ・代表理事及び業務執行理事業務報告

ウ 3月23日、内閣府へ報告をしました。



理事会の様子



令和4年3月15日 令和3年度第6回理事会 公益社団法人 自衛隊家族会
記念写真（撮影時のみマスクなし）

(2) 入隊・入校予定者激励会特集

入隊・入校予定者激励会の多くが3年連続して中止となる中、感染症対策をしつかり講じ、創意工夫を凝らし激励会等を開催した県家族会等の活動を紹介します。

ア 山口県自衛隊入隊・入校予定者激励会（山口県自衛隊家族会）

(ア) 山口市自衛隊入隊・入校予定者激励会

2月19日、山口県家族会山口支部（宗重正則支部長）は、市内の吉敷地域交流センターにおいて、「山口市自衛隊入隊・入校予定者激励会」を主催しました。

当日は、コロナのまん延防止等措置期間でしたが、入隊・入校予定者18名と

そのご家族が参加し、来賓に伊藤和貴山口市長、西村修山口地本長のご参加を頂き、重宗支部長挨拶、来賓祝辞、祝電披露、記念品贈呈、入隊予定者謝辞の後、最後に全員で記念撮影を行い終了しました。

なお、激励会開催前に同支部副支部長から入隊予定者のご家族へ本会の説明・入会案内を行い、入会促進に努めました。



入隊・入校予定者との記念写真

(イ) 防府市自衛隊自衛隊入隊・入校予定者激励会

2月22日、山口県家族会防府支部（福岡 要支部長）は、防府市役所において、「防府市自衛隊入隊・入校予定者激励会」を防府市と合同で開催しました。

当日は、入隊・入校予定者13名、ご家族10名が参加し、来賓として島田教明防府地区自衛隊協力会長、西村修山口地本長はじめ多数の来賓のご参加をいただき開催しました。

式典は、岸防衛大臣のビデオメッセージに始まり、池田豊防府市長及び福岡家族会防府支部長の祝辞、島田防府地区自衛隊協力会長及び西村本部長の激励挨拶、入隊・入校予定者の紹介、激励記念品の贈呈、さらに陸海空3幕の幕僚長はじめ各自衛隊指揮官等からの祝電を披露し、入隊予定者は新しい挑戦に胸躍らせたことと思います。



入隊・入校予定者との記念写真

イ 「がんばるぞ!」と誓う入隊・入校予定者に熱いエールを送る（福井県自衛隊家族会）

2月27日、福井県自衛隊家族会（八杉仁司会長）は、福井県自衛隊協力会連合会が主催する福井県自衛隊入隊・入校予定者激励会を共催しました

当日は、97人の入隊・入校予定者とそのご家族130人が参加し、激励会開催前の時間を活用して、ご家族へ家族会の概要及び入会説明を実施しました。

八杉会長の挨拶、ご家族への入会説明の後、陸・海・空、防衛大、高等工科大学、幹部候補生の区分で最近入隊したての家族会員と保護者との懇談を行いました。

懇談は、今回入隊・入校予定者の保護者からの質問に答える形式で行い、70分の懇談で、入隊へのご家族の不安が少しでも解消されたものと思います。

本入隊説明会には、32名の会員が応援に駆け付け、運営にあたりました。



家族会について説明する会員



入会意向アンケートを回収する会員

ウ 鹿児島地本鹿屋地域事務所主催の入隊説明会に参加（鹿児島県家族会）

3月12日及び13日、鹿児島地本鹿屋地域事務所が主催した入隊者及び保護者に対する入隊説明会に、鹿屋市自衛隊家族会（伊藤正夫会長及び同役員）はじめ、垂水市、肝付町、錦江町の各家族会会長など8名が参加し、入隊予定者へ激励をするとともに、ご家族へ家族会の活動内容の紹介及び入会案内を行いました。

当初は、鹿屋地域事務所が大々的に激励会を開催し、入隊予定者への激励をする予定でしたが、コロナ渦により今年度も激励会を断念せざるを得ませんでした。

開催場所の桜ヶ丘集会所には、入隊者及びご家族128名が、参加しました。

3密回避を考慮し、午前・午後各1回を2日間にわたり、計4回実施しました。



入隊者への激励、保護者への入会案内をする伊藤会長他

エ 入隊・入校予定者激励会での入会説明会（広島県 福山市自衛隊家族会）

3月5日、福山市自衛隊入隊・入校予定者激励会が、福山防衛協会主催で福山商工会議所において開催され、入隊・入校予定者28人とそのご家族が参加しました。

福山市自衛隊家族会（渡邊政夫会長）は、入隊者等一人ひとりにお祝いと激励の言葉をかけ家族会の激励品を手渡しました。

激励会終了後、同会場においてご家族の皆様に対して、渡邊家族会長から再度祝辞を述べるとともに、家族会の案内・入会手続き要領などについて説明し、会員獲得に努めました。



入隊者へ激励品を贈呈する渡邊会長

（3）家族会活動スナップ

建国記念日行事（奉祝会）に参加



山口県家族会防府支部（福岡要支部長）

丘珠駐屯地除雪隊への激励



札幌家族会東区支部（藤田恵子支部長）

（4）殉職隊員葬送式

石川県小松基地のF-15戦闘機が1月31日小松市沖に墜落した事故において、殉職した搭乗員の田中公司空将補（特別昇任）と植田竜生3等空佐（同）の葬送式が、3月12日、同基地にて航空戦術教導団司令（加治屋秀昭空将補）の執行の下、岸防衛

大臣、井筒航空幕僚長、小松基地の各協力団体の代表などが参列し、しめやかに執り行われました。

コロナ感染防止に鑑み、本会は、伊藤会長名での弔電及び供花を届けました。

また、小松基地の各協力団体として小松市自衛隊家族会の俵秀雄会長が参列し、お二人のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族様へお悔やみを申し上げました。